

東南アジアの自然と農業研究会

第 104 回研究例会のご案内

第 104 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学農学研究科の山田 健一郎氏に下記のように報告していただきます。年度末のお忙しい時期かと思いますが、皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2002 年 3 月 1 日 (金) 午後 4 時 ~ 午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め

話題提供者： 山田 健一郎 氏
話 題： 「ラオス北部における生物資源利用がはたす
フードセキュリティ機能について」

要 旨： ラオス北部山岳地域では、多様な民族がそれぞれの生態環境に適応して生活している。主な生業は水田や焼畑であり、自給的な色合いの強い生産活動を行っている。しかしながら、農業生産のみで年間の十分な食糧を確保することは難しく、農民は様々な対応をすることで生計を維持していると言われている。その一つとして、森林産物などの天然生物資源を、食糧として利用することや収入源として利用することの重要性が指摘されている。

本報告では、2000-2002 年に行った調査をもとに、フードセキュリティの視点から、特に主食米と副食物の確保に重点をおき、これら天然生物資源利用が農家経済においてどのような役割を果たしているのかについて分析を試みる。さらに近年、この地においても市場経済の浸透や森林劣化が進行し始めており、これらの資源を提供する場としての環境について考察し、環境のもつ価値について再考したい。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科 熱帯農業生態学研究室
Tel. 075-753-6352 <mailto:tomita@kais.kyoto-u.ac.jp>
柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7345 <mailto:masa@cseas.kyoto-u.ac.jp>

ホームページ： <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>